

## 令和3年度 第2回岡山市女性活躍推進協議会要旨

- 1 日時 令和3年9月28日(火)午前10時～午前11時30分
- 2 開催方法 オンライン
- 3 出席者 <委員>大塚委員、河内委員、近藤委員、須々木委員、宗田委員、竹原委員、藤井委員、渡辺委員  
<事務局>安東課長、繁定課長補佐、神崎主査(女性が輝くまちづくり推進課)、奥野参事監(市民協働局)
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事  
(1) 第5次さんかくプランの策定について  
(2) その他
- 6 配付資料  
資料1・2 「第5次さんかくプラン」の策定について
- 7 会議の状況

### 議事1 「第5次さんかくプラン」の策定について

資料1・2により、事務局から説明

#### 【主な意見】

- ・理念図については、条例をわかりやすく図式化したものだと理解している。基本理念Ⅰだけに「人権」という強い言葉が使っており、基本理念Ⅱ・Ⅲのような個別具体ではなく全体を貫く重要なもので、3つが並列な関係に見えない。3つの関係性を整理するような図が作ればよいのではないかと感じた。
- ➡基本理念Ⅰについては、男女共同参画社会を築くための土台となる部分で、すべての根底にある大切なものだと考えている。
- ・具体的施策に具体性が見えず、施策の方向性と重複しているところが多い印象を受けた。
- ➡施策の方向性を大まかに定めて、それに見合った具体的施策を挙げている。本課だけではなく教育委員会等、関係部署が全市で取り組む様々な施策を想定して、関係部署と協議しているところである。文言整理も含めて検討したい。
- ・基本目標9「企業や各種団体等における女性の参画拡大」で農林水産業を具体的に出している理由を知りたい。
- ➡農林水産業は、全体的に担い手が減少している中で女性の参画が求められる分野。農林水産課が取り組んでいる施策を掲載していこうと思っている。
- ・男性の育児休業の取得促進について、今までもなかなか進んでこなかった。もっと踏み込んで具体的なものを盛り込んでいくとよいのではないかと感じた。
- ➡実際に取り組むのは各企業になるので、市としてできることは啓発だと考えている。女性活躍推進シンポジウムを毎年開催しており、女性活躍やワーク・ライフ・バランスなどの内容を盛り込んでいたが、男性の育児休業の取得等についても取り上げていきたい。
- ・災害対応について、どのような方針で女性の参画を進めていくのか具体的施策の中で

見えてこない。

- ➡「女性の視点を取り入れた防災の啓発」を挙げているが、今年度危機管理室が女性の視点を取り入れた防災ハンドブックを作成しているので、それを活用して啓発していきたい。
- ・シンポジウム開催の費用対効果は検証していくのか。
- ➡費用対効果は図りづらいが、参加者へのアンケートで意識の変化等、効果を尋ねている。啓発による男女共同参画社会の進展の度合いは、男性の育児休業の取得率等を成果指標として評価する。
- ・女性活躍推進には数値目標なども大事だが、男性の理解がとても大切。女性のキャリア形成や再就職支援についても、女性が活躍しないと経済が回っていかないという意識啓発が重要だが、どのように落とし込んでいくのか。
- ➡現在も実施している男性管理職セミナーを継続し、男性管理職に女性活躍の意識を持ってもらえるように取り組んでいきたい。
- ・男性の育休取得や家事・育児参加が大切で、若い人も福利厚生を真剣に考えている。目標数値を示すのは難しいかもしれないが、どのように周知していくのか。
- ➡男性の育児休業の取得について、管理職の働きかけや組織全体で男性が育児休業を取るのが当然だという考え方になるのが大切だと思う。社会全体の風潮が、子どもが産まれたら男性も休んで赤ちゃんの世話をするのが当たり前になっていくように働きかけていきたい。
- ・女性活躍の数値目標があるのか。
- ➡数値目標については、岡山市職員の女性管理職割合を、R3年4月の15%から5年後には20%を目標に取り組む。また将来的には30%を目指して取り組んでいきたい。
- ・政策決定過程への女性の登用、参画拡大が大切で、女性の意見をいろいろなことに反映していくことが基本になる。具体的な施策があればと思う。
- ・男性版産休制度や上司の働きかけの義務化などの国の法改正を受けて、男性の育児休業取得を岡山県のウィズプランにも盛り込み、力を入れていこうと考えている。職場の雰囲気づくりが大事だということで、企業に社労士などの専門家を派遣して風土作りや社内規則作りなどを支援する取組を進めている。なかなかすぐには成果が見えないが、徐々に取組を進めていくしかないと思っている。特に中小企業にとっては男性が休むのはフォローも含むと大変という点を課題として捉えながら進めている。
- ・困難を抱える女性への支援で、コロナ禍で女性を中心に非正規雇用労働者の雇用基盤の脆弱さが露呈したと思うが、この分野に対しての具合的施策は何かあるのか。
- ・商工会議所でコロナの影響調査を実施し、その結果を発表したが、非正規雇用労働者の雇用が特に厳しくなっているのを心配している。
- ➡非正規雇用労働者への支援としては、今まで実施していた出産育児を機に仕事を辞めた人等への再就職支援に加え、今年度非正規雇用から正規雇用を目指す人へのスキルアップセミナーを実施しており、今後も引き続き支援を考えていきたい。  
また、中小企業への職場環境づくりの取組だが、今年度岡山商工会議所、各商工会と一緒にいった企業への調査結果を現在取りまとめているので、その結果を受けて中小企業への対応を含め、岡山商工会議所、各商工会と連携して取組を進めていけないかと考えている。調査結果については次回の協議会で報告する予定である。
- ・「性別等にかかわらず」と書いてあるのに女性が中心の施策が多いので違和感がある。なぜ女性が中心なのか最初にあればわかりやすいかと思う。
- ➡男女共同参画社会推進計画で、今も残る男女格差を是正するためのものが多いので、女性向きの施策が中心になる。
- ・少子化についてはどのように考えているのか。

- ➡ 少子化対策は岡山市全体で取組を進めていて大切だが、そのためにも特に女性が仕事と家庭の二者択一をしなくてもいいように、個々の希望に応じた働き方ができる社会になっていく必要があると考えている。
- ・「困難を抱える女性への支援」で、困難という部分が直ちに貧困と結び付けられていることに違和感がある。困難が具体的に何なのかによって支援の仕方が変わってくる。困難は貧困だけではないので、具体的ニーズをひろい、対象をどうするのか考えないとずれた支援になると思う。
- ➡ 生活上の困難は貧困だけではないと考えている。働き方についても非正規雇用を望む人もいるが、コロナ禍で女性の非正規雇用の失業が多いという現状もあり、より安定した正規雇用で働きたい人についての支援を考えている。また、複合的な困難を抱えている方への支援についての取組も検討していきたい。
- ・数値目標と成果指標は連動しているのか。「乳がん・子宮頸がん検診の受診率」は目標値になるのではないのか。
- ➡ 数値目標については事業を行う上で目標とする数値を定めているもの。成果指標は男女共同参画社会の進展の度合いを測る目安で、その数値が向上することをめざす。この数値をモニタリングしながら取組の進捗状況をチェックしていくものと考えている。  
 検診の受診率は目標で定めて取り組むというよりは、啓発に努めた結果、受診率が上がっていくことをめざす成果指標と考えている。
- ・「災害対応における男女共同参画の促進」で数値目標や成果指標を定めているが、これらは女性が十分に社会に参画しているかどうかをはかるための項目になるのか、防災への女性活躍推進の意図は何か。
- ➡ 災害対応は、地元の町内会などが中心でトップには男性が多く、災害時の避難所運営や防災訓練においても男性が中心になっているのが現状だと思う。そこに女性の視点が入ることによって、高齢者や障害者などにもきめ細かい対応ができるようになりうまくいくようになるのではと考えている。
- ・「政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大」は、第1次のプランから目標としているが、今もなお十分ではない。3月に発表されたジェンダーギャップ指数でも、政治・経済分野での女性の登用が遅れているという結果となっており長年の懸案。この部分に力を入れて計画を作ろうとしている。仕組みを変えていく部分と意識を変えていく部分があり、粘り強く啓発・講座等で啓発しながら、共に進めていきたいと考えている。本日のご意見も参考に、次回はもう少し確定したものを示せると考えている。

#### その他

- ・女性活躍シンポジウムについて、本協議会との共催、岡山商工会議所の後援で、10月19日にオンライン・会場の両方で開催する予定。参加をお願いしたい。
- ・協議会独自のサイトの立ち上げはできなかったが、市HP内の「女性活躍推進協議会について」内に協議会メンバーの各団体のページリンクを貼りたいと考えている。
- ・次回開催は2月の予定。